

《取付方法》

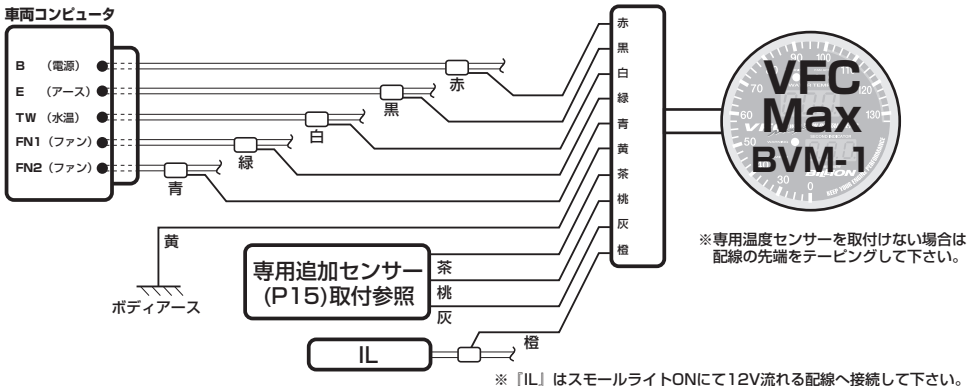
1. エンジン停止させ、車両ECUが見えるようにカバー・内装類を割れないように慎重に取外して下さい。
2. 別項の「車両ECU端子図」を参考に、下記の通りに配線取付を行って下さい。
3. 下記の車種に関してはファン作動速度が「低速・高速と、2段階設定があります。本体設定にて、各々独立制御が可能です。本体設定のファン作動温度「Lo」と「Hi」の設定を行って下さい。
4. 取付が完了したら、「初期設定」を参照の上、操作・設定を行って下さい。
5. 専用追加センサーをご使用の場合は「専用追加センサー取付」をご参照の上、取付を行って下さい。
※追加センサーを装着しない場合は、サブ表示部に常時バッテリー電圧が表示されます。追加センサー未装着でも本体作動にはなんら支障はございません。

BVM-1

配線取付 1

NISSAN	JN15(N1仕様) HP11(VVL) Z32ターボ Y33ターボ
SUBARU	GDA(B) GC8 GF8 BG5 BD5 BH5 BE5 BL5 BP5 SF5
MITSUBISHI	CD9A CE9A CN9A CP9A CM5A
TOYOTA	SCP10 SCP11

車両コンピュータ



※専用温度センサーを取付けない場合は配線の先端をテーピングして下さい。

※「IL」はスモールライトONにて12V流れる配線へ接続して下さい。

【配線解説】

- ① 車両端子図のBの位置にスプラインを使用してVFC本体の赤線を接続します。
- ② 車両端子図のEの位置にスプラインを使用してVFC本体の黒線を接続します。
- ③ 車両端子図のTWの位置にスプラインを使用してVFC本体の白線を接続します。
- ④ 車両端子図のFN1の位置にスプラインを使用してVFC本体の緑線を接続します。
- ⑤ 車両端子図のFN2の位置にスプラインを使用してVFC本体の青線を接続します。
- ⑥ VFC本体の黄線を確認にボディアースして下さい。
- ⑦ VFC本体の橙線をオーディオ等のスモールライトONにて12V流れる配線へ接続します。
- ⑧ 追加センサー接続の場合は、「追加センサー取付」の項に従って取付を行います。
- ⑨ 以上で配線完了です。

※誤配線は車両に重大なトラブルを招く恐れがございます。取付に際しては細心の注意をもって臨んで下さい。

【本体とハーネスの接続及び、固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカブラーを差し込んで下さい。
- 本体、配線は運転動作の妨げとならない様に両面テープ、タイラップ等にて固定して下さい。
※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所には設置すると、本体の変色、および本体の破損の原因となります。
- 固定が完了したら、エンジンをかけて、本体の作動チェックを行って下さい。
- 正常に接続されている場合は、スタートデモンストレーションのあと、水温が表示されます。

「初期設定」の項に従って設定を行って下さい。

- 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の項をご参照下さい。